



調達ミルクラン導入による輸送の最適化とコスト削減

カルソニックカンセイ

カルソニックカンセイの製造拠点について

2000年4月に合併して再スタートをきったカルソニックカンセイ(CK)だが、埼玉、群馬、福島、大分を中心に製造拠点を有していた。主な納入先と製造拠点を表1に示す。

当社の最大の顧客は日産自動車であるが、そのほかに三菱自動車、マツダ、富士重工業などがあり、電子部品および計器部品は1極集中型、それ以外は関東地区と中国・九州方面の2方面に分け、それぞれが分担し合う形の生産工順としている(途中厚木工場を閉鎖し、群馬工場に統合した)。

物流(価格)上の課題

前述のように、複数の製造拠点があるが、同一部品をサプライヤーから購入するケースも少なからずあった。

たとえば、マフラーの構成部品が北関東のあるサプライヤーでつくっている場合、群馬工場へ納入するのと追浜工場へ納入するのでは物流費が異なる。一方で、購入部品は一物一価の原則があるため、前述のようなケースでは搬送費用の差額を部番上で工夫する必要があった。具体的には群馬工場に納入する部品は末尾にA、追浜工場に納入する場合は末尾にBを付与して納入先とその価格を容易に区分する必要があったのである。

次に、価格の中に搬送費用が入っている場合、購買面からいえば、搬送費と製造コストの両面を査定する必要があった。まず、製造コストの精査し、さらに物流費について精査をしなければならない。仮に製造コストが安価であってもそのサプライヤーが納入にあたり比較的搬送費の高価な物流業者を使っていた場合、高い買い物になる可能性があった。

また、各サプライヤーが各々、便を仕立てて納入するため、受入れの工場では納入用トラックが渋滞したり、トラック用ポートが開かなかったりする問題やトラックのアイドリングによる排ガス

会社概要

会社名：カルソニックカンセイ(株)
所在地：〒331-0823
埼玉県さいたま市北区日進町2-1917
設立：1938年
従業員数：連結 21,987名、単独 3,643名
事業内容：コックピットモジュール、フロントエンドモジュール、エキゾーストシステム、エアコンユニット、コンプレッサー、インストールメントパネル、メーター、電子部品、ラジエーター、コンデンサー、マフラー、コンバーターの製造

表1 カルソニックカンセイの地区別の納入先

主な納入先と製造拠点は以下の通り(2000年当時)

	関東地区の顧客対応工場	中国・九州方面の顧客対応工場
排気部品	群馬工場	中津工場
空調部品	群馬工場	中津工場
内装部品	吉見工場・サイテック	宇佐工場
熱交部品	厚木工場→群馬工場	中津工場
電子部品	児玉工場	児玉工場
計器部品	二本松工場	二本松工場

